

一般質問

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などを質問するもので、定例会に限って行なわれます。
 今回の一般質問は9月10日から12日までの3日間で行い、10人の議員が質問に立ちました。掲載原稿は質問者本人が要約したものです。

通番	質問者	質問事項
1	中村三千人	①防災対策について ②国民宿舎「あまくさ荘」跡地について
2	蓮池 良正	①市民憲章「豊かな自然を守ります」の実践 ②長寿のまちづくり ③子育て支援の充実 ④均衡ある地域の発展・振興をめざして
3	浜崎 昭臣	①交通網に関するプロジェクトチームについて ②県道35号線旧二浦郵便局から早浦橋間県道再編入について ③旅館等施設整備資金利子補給助成金交付制度について
4	赤木 武男	①地震災害への防災・減災対策について ②「コンビニ交付サービス」の導入について ③骨髄提供者(ドナー)の助成制度創設について ④居宅介護福祉用具等購入費受領委任払制度について
5	福嶋 啓子	①イノベーション対策について ②若者の活用について ③世界遺産登録における懸念事項
6	田中 茂	①天草市市民と行政の協働指針について ②自治基本条例の制定について
7	本田 武志	①天草市定住自立圏構想「集積とネットワーク」の実効性について ②アウトソーシング計画について
8	浜崎 義昭	①天草市での中小業者経営は大丈夫か ②地域活性化のための対策について ③学校統廃合について
9	鶴戸 継啓	①おもてなしへの取り組みについて ②雇用の場の提供について ③観光政策について ④物産品の市外売り込みについて ⑤保育所民営化について
10	北野 鋼一	①市有地の有効利用について ②観光政策について ③物産品の市外売り込みについて ④保育所民営化について

防災対策について 国民宿舎「あまくさ荘」跡地について



中村 平成23年3月11日に起きた東日本震災から、2年半が経過した今、震災を教訓として、本市での防災に対する取り組みはどうか。

総務部長 避難所の点検や、昨年は津波が発生した場合を想定し津波避難訓練を実施した。さらには、災害発生時の協力体制を整えるため災害協定を震災発生後、新たに11件締結している。

中村 今回、防災無線の整備で、基本設計、調査業務を公募しているが、平成19年に行なった実施設計との関係はどうか。また、光ファイバーケーブルとの二重化の併用こそが市民が期待するところではないのか伺いたい。

総務部長 平成19年に行なった、実施設計と今回発注を予定している基本設計は全く異なる。また、約16億円で構築した、光ファイバーケーブルの二重化の活用については、仕様書にも明記し、十分検討していく。

中村 国民宿舎の2回の公募に際し、全社が入札前に失格となった理由は。

総合政策部長 審査基準に照らして審査した結果、4社とも審査基準を満たす提案内容ではなかった。

中村 あまくさ荘の売却が決定しない中にも民間の事業者にも、あまくさ荘隣接地の山林、雑種地を公募なしで売却された理由を伺う。



あまくさ荘跡地

総合政策部長 旧天草町時代に申し入れ、取り交わした約束があり、売却にあたっては、隣接地権者や地元区長さんの同意を得ており、地元には、特に説明していない。

中村 今回売却できなかった場合はどう考えているか。
総合政策部長 市としては、今回が、最後の機会という思いで、売却できるように、最大限の努力を行う覚悟である。

均衡ある地域の 発展・振興をめざして



【新庁舎へ市民スペース設置を】

蓮池 先日は、議運で高山市と守山市の市役所を訪問。それぞれ、完成後間もない庁舎でしたし、庁舎建設の基本点は踏まえて設計施工してあると感じました。その上で、いくつか質(た)したい。

議会スペースも含め市民のかかわりのあるスペースがどうなるのか。天草市役所の将来方向が見えにくい。市役所を市職員の働くスペースと捉えることも大事だが、主権者市民がいつでも気軽に立ち寄れる存在として描くことが、まず必要ではないか。どこどこに市民スペースを配置していく構想になるうとしているのか、最初に確認したい。

総務部長 住民自治の拠点となる、親しまれる庁舎を目指す。具体的な設計を進める中で、ワークショップ等も開催し、詳細な導入機能については、協議を行い進めていく。

【予算編成に支所や市民自治組織からの要求が反映するしくみを】

蓮池 予算編成に支所や市民自治

組織からの予算要求が反映するシステム構築を求める。

実感として、そういう手間と工夫と市職員と市民参加を前提とした予算案編成要求の実践機会を体験した人が少ないのかもしれない。

市の予算の編成作業とそれを前提とした予算要求を多くの市民に体験していただく機会を創出することが、主権者としての考え実践する第一歩になるのではないか。

総合政策部長 市民や自治組織からの予算要求では、市民生活や地域産業が抱える課題等については、本庁各部署と支所が連携して必要な予算要求を行っている。



【支所等の公共施設の利活用を】

蓮池 8月にまちづくり勉強会が県内の元町立小学校跡地(宿泊可能な多目的交流施設)で開かれ参加。パリアーフリー化、殊(こと)にトイレの洋式化や手すりの設置は有益と感じる。天草市でも関係部署での積極的整備を強く求める。

交通網に関するプロジェクトチーム編成について 旅館等施設整備資金利子補給助成金交付制度について



【交通網に関するプロジェクトチーム編成について】

浜崎 天草市役所内に交通網に関するプロジェクトチームを編成して、陸路・海路・空路、交通網百年の大計を確立するため、将来推計交通量等白紙の状態から市独自で検証すべきでないか。また、運航会社に代わり自治体がフェリーを購入して無償で貸し付ける「公設民営方式」を牛深く蔵之元間に導入出来ないか。

建設部長 市独自の推計交通量を算定する事については検討していない。陸路、海路、空路を含めた交通網に関するプロジェクトチームについては、必要に応じて関係部署と連携を図り検討していく。

市長 「公設民営方式」について天草地域は半島地域であるため補助を受ける事は出来ない。今後は機会をとらえて、引続き離島と同様の補助が受けられるように国・県に要望していく。



【県道35号線について】

浜崎 旧二浦郵便局から早浦橋間は県道に再編入すべき。

市長 合併前からの要望も踏まえ、県にお願いしていく。
建設部長 今後、国道を含めた道路ネットワーク全体の見直しの中で検討して頂くよう要望していく。

サンセットラインの一部でもあり「日本風景街道」の登録に向けても、県及び2市1町で取り組みを進めている。



サンセットラインから望む夕陽

【旅館等施設整備資金利子補給助成金交付制度について】

浜崎 宿泊施設の施設整備等を促進するため、新築、増築、改築又は設備改善に要する資金の利子補給制度を新年度予算で創設出来ないか。
観光文化部長 要望の把握や、他市の状況等も参考にしながら検討していく。